



評価のポイント

CL-新人.専門性の開発能力

〔68-新人〕看護業務の特性と他職種の業務特性

次の事例は、入院中にはどのような職種の人々が関わり、どのような役割を発揮することが期待されるかを考えてみましょう。その場合の看護師の主たる役割についても考えてみましょう。同様に退院に向けても考えてみましょう。

**80歳女性 独居、急性心筋梗塞のため緊急入院し、3週間後に退院した。
退院時の要介護度のレベルは要支援Ⅰが予想される。**

課題において、病院を支える看護師以外の主な他職種（チーム医療メンバー）の資料を参考に看護師、医師をはじめ薬剤師、理学療法士など多くの専門的な知識とスキルを有するチーム医療メンバーが関わることを理解できることが期待される。また、看護師の役割については、看護業務と多職種との関係（チーム医療における看護師の役割）と多職種間の仲介役・調整役の項目ページを参考に理解できることが期待される。

事例に対する退院に向けた支援については、急性期から退院に向けて多くの医療チームメンバーと協力しながら看護を進めるとともに、要支援Ⅰ（資料参照）の特性、生活環境の状況（独居）を想定し、早期にリハビリを進めること、またMSWが関係する可能性、患者自身の健康問題に取り組む（参画）ことへの支援、さらには社会生活を営むうえでの課題に関する意思決定支援などの必要性が考察されることが期待される。